



企画展  
**あつみね  
 動物!**  
 2024年  
**6月18日(水) → 8月11日(日)・祝**

**ギャラリートーク**

**6月23日(日)**

各日

**7月27日(土)**

午後2時～2時45分

担当学芸員による  
 展示解説を  
 行います。

**プレゼント**

※お1人さま1枠/

作って、遊ぼう!

「猫のずぼんぼ」



写真は  
 イメージです

「うちわ」で  
 あおぐとフワフワ  
 と動きます!

※数に限りがあります。  
 なくなり次第終了と  
 させていただきます。

**クイズラリー**

全問正解者には  
 シールを  
 プレゼント!



山崎記念

**中野区立歴史民俗資料館**

タカい  
ところが  
好き



お鷹ぼっぽ  
(笹野一刀彫 山形県)

**動物** は古代から食料として、やがて狩猟や農耕・運搬の重要な戦力、愛玩対象として飼われ、人間とはあらゆる場面で深くかかわっています。動物のもつ不思議な力やイメージから、オオカミやヘビはご神体として祀られ、カラスやキツネ、ウシやハト、ニワトリ、ムカデなどは神使としても知られます。



アルマジロの小物入れ  
(井上円了コレクション  
アルゼンチン 明治44年[1911])

中野は江戸時代、徳川将軍家の鷹狩の場となり、五代将軍徳川綱吉の政策「<sup>しょうらい</sup>生類憐みの令」で、犬を飼育する広大な<sup>おかこい</sup>御園が作られました。また18世紀半ばには、ベトナムから長崎を経由して江戸にやってきたゾウが中野村で飼われていました。本展では館蔵の郷土玩具や絵馬、おもちゃ絵などの動物、東洋大学の創始者で哲学者、「妖怪博士」でもある井上円了コレクションの動物も紹介します。



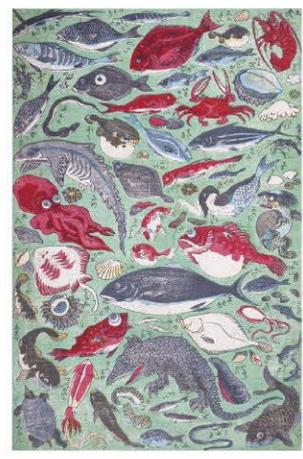
トリ急ぎ  
見に来て  
ください

鶏抱き猿  
(古賀人形 長崎県)



子犬戯れ  
(山崎家コレクション画帖より  
文久2年[1862])

食べられて、使われて、愛されて、あがめ畏れられもする動物の姿をご覧ください。



志ん板魚つくし  
(四代歌川国政 明治時代)



動物園  
(宮川春汀「小供風俗」より  
明治20年[1887])



仔犬図  
(古雀筆)



鯉図  
(光保筆)

山崎記念 **中野区立歴史民俗資料館**

〒165-0022 東京都中野区江古田 4-3-4  
TEL(03)3319-9221 FAX(03)3319-9119

**開館時間**  
午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)  
**入館料 無料**

フジカラ  
あいてまーす



鯨だんじり(長崎県)



**休館日** 月曜日・第3日曜日  
掲載の展示・イベント等中止  
または延期、内容などが  
変更される場合があります。

- 交通**
- 西武新宿線「沼袋駅」北口より徒歩8分
  - 都営地下鉄 大江戸線「新江古田駅」より徒歩15分
  - JR「中野駅」北口より練馬駅行き(京王バス中92系統)「江古田二丁目」下車徒歩2分
  - JR「中野駅」北口より江古田駅行き(関東バス中41系統)「江古田二丁目」下車徒歩2分  
※中12系統はとまりません
  - 西武池袋線「練馬駅」北口より中野駅行き(京王バス中92系統)「江古田四丁目」下車徒歩5分

開館の状況など、資料館の最新情報は  
ホームページ等でご確認ください。

ホームページ



Facebook



X(旧 Twitter)

